

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	陵ヶ岡こども園	施設 種別	保育 (旧体系：)
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発推進機構		

令和 2 年 1 月 3 0 日

総 評

陵ヶ岡こども園は、2018年4月より保育園の機能と幼稚園の機能及び子育て支援機能を総合的に兼ね備えた幼保連携型認定こども園として形態を変えて運営されている事業所です。

同一法人内には、分園「はなみずき保育園」や隣接している「陵ヶ岡児童館」とともに、多様な住民構造からなる山科御陵地区の住宅街にて、定員250名規模の大きな保育支援環境を幅広く担っています。

「『みんななかよく』をテーマに、地域に愛される保育園を目指し最善を尽くすことを誇りとし、園児一人ひとりを大切に、保護者が子育てに悩み・相談ができる支援体制を構築し、園と園児・保護者との信頼関係を築き、園児が安心して保育・教育できる環境を整えます。

また、園と地域と家庭がお互い支えあい連携し、愛情と信頼の絆を大切にしながら、子ども達が思いやり(感謝)を持って行動できる人格の基礎作りをし、社会的責任を果たすこと」を理念とし、さらに「ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく、楽しく、元気よく遊ぶことを通して、自立心と集中力を養い、協調性と豊かな表現力をもった子どもの育成をめざすこと」を保育方針として運営しています。

最寄り駅の地下鉄御陵からの周辺道路は狭いながらも、通園時には地域の方々が見守り活動を行っておられる状況を見受けることができ、小学校区の中で唯一のこども園として隣接の小学校や児童館ともお互いに子どもたちの成長を共有できる関係の中で、連携して地域のニーズ(子育て相談、長時間保育)に応えた運営を推進されている状況をうかがうことができます。

子どもたちには、基本的な生活習慣から食育、音楽・造形活動、体操教室、環境教育、障害児保育など、保育と教育の両面からの実践が行われて、また、保育者には多様な研修機会の提供や保育者一人ひとりの成長と向き合いながら管理者(園長)を中心に保育者の育成に注力され、保育の質の向上に努められている状況を聞き取ることができます。

しかし、なかなかゆとりのもてない業務環境の中で、将来を担うべき管理職・人材の育成や人材の確保及び円滑な運営を行っていくための役割・業務の分担、管理体制に関しては苦慮しているとの課題認識を持っています。

特に管理・指導職者の育成は、急務のことと認識されており具体的な取り組みが必要な状況にあると見受けられます。

園としての全面改修後も、子どもたちの生活・保育環境に即した工夫と改善が随所に見受けられ、丁寧に支援環境を構築されています。

今後も引き続き、保育・教育支援の連続性を意図したマニュアルの整備・評価・見直しを進められるとともに、園としての中長期計画の策定をご検討ください。

特に園が求める人材像、専門性、成長の方向性・計画性を明確にし、園の内外を問わず、さらには第三者の支援を得ながら課題に対する具体的な取り組みを検討いただき、園全体で中期計画策定の取り組みが行われますことを期待しています。

特に良かった点(※)	Ⅱ－２－（１）通番１５ 管理者（園長）は、年に１度職員と面談を行い課題や目標につて共有する機会を設け、保育者への助言や育成に指導力を発揮し、一人ひとりの育ちを実感できる職場と保育の質の向上に積極的に取り組まれています。今後はさらに「きょうと福祉人材育成認証制度」やキャリアパス（必要な業務経験の積上げ）なども活用し中期的な視点からもより保育の質の向上に資する取組みが行われますことを期待しています。 Ⅱ－４－（１）通番２３ 同一法人内で運営する児童館と連盟した地域子育てステーションでのイベントや相談事業などの取組み状況を聞き取ることができ、隣接する小学校と交流や地域の方々の通学路見守り体制に相乗的に効果を得ている状況を確認することができます。夏祭りや運動会なども地域の方々との交流の機会を設け、子どもたちの保育環境の向上に資する活動に取り組まれています。 A－１－（２）通番４７ 園の全面改修後もその状況に応じかつ立地状況を活かして、子どもが心地よく過ごすことのできる環境整備・工夫が施されている状況を随所に確認することができます。また、子どもたちの年齢に応じて、遊び・食事・睡眠場所などを確保し、衛生面でも明るく清潔な環境を整え、適切に取り組まれている状況を聞き取ることができ高く評価できるものと考えます。
特に改善が望まれる点(※)	Ⅰ－３－（１）通番４ 経営・保育ヴィジョンを中長期的な視点から捉え計画した中長期計画の策定状況が確認できませんでした。本園としては、地域の保育ニーズ行政政策の方向性、園の内情を踏まえた見直が必要であると認識され見直されています。その結果を反映し具体的な数値目標も設定しながら、多様な関係者と本園の成長の方向性を共有に資する計画書が策定し、単年度計画にも反映されることを期待しています。 Ⅰ－２－（１）通番２０ 毎年、実習生を受け入れて次世代の人材育成・発掘に積極的に取り組んでいる状況を聞き取ることができますが、マニュアルが策定されていません。実習生の受入れや育成に関する基本姿勢を明文化しながら、効果的な取組みとなることが望まれます。 Ⅲ－１－（４）通番３３ 苦情解決の責任者や担当者を設置し、「入園のしおり」などにて保護者に周知している状況を確認することができます。しかし、苦情があった場合、その苦情解決状況を公表するなどの取組みを行っていないため、本基準の「留意点」に準じC評価としました。今後は可能な限り改善の取組み状況を公表・共有し、保育の質の向上に努められることを期待します。

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

[自由記述欄]

入園時に全員に配布している「入園のしおり」で理念や基本方針に記載されていることを確認した。年に1度行っているクラス懇談会で保護者に園の方針を説明していることを聞き取った。また、理念や基本方針は、「保育教諭マニュアル」にも明記されており、会議時に職員に対しても理念や基本方針を伝えていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	a

[自由記述欄]

園長が園長会、私立保育園連盟等の会議への出席や京都市からの情報を通して、社会福祉業界全体の動向について具体的に把握し分析しているほか、会計事務所が毎月の財務状況をチェックし、現状分析を行っている状況を聞き取ることができたため、I-2-(1)-①は自己評価cをb評価とした。きょうと福祉人材育成認証の取得、京都介護・福祉サービス第三者評価の受診といった人材不足に対する取り組みを行っており、またそれを理事会で共有していること、また、職員にも日常的に周知していることを聞き取ったため、I-2-(1)-②は自己評価bをa評価とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a

[自由記述欄]

3～5年の中・長期計画の策定状況が確認できなかったため、I-3-(1)-①を自己評価BからC評価、I-3-(1)-②を自己評価AからC評価とした。年度初めの職員会議にて、事業計画を職員に周知していることを議事録で確認し、また、週案会議の中で事業計画の見直しを行っている状況が聞き取れたため、I-3-(2)-①を自己評価bをa評価とした。事業計画の保護者への周知について、毎月発行している園だよりや、年に一度開催している保護者会、クラス懇談会において行っていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	c

[自由記述欄]

福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組について、今回が初めての第三者評価の受診であり、今後、評価結果を踏まえて分析、改善を実施していく意向である。

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番		評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	b
[自由記述欄]						
施設長の役割・責任の明確化について、キャリアパス制度の導入を行う中で、業務分掌の整備等がなされているが、経営・管理に関する方針と取組について文書化されていなかった。園長が園長会、私立保育園連盟、全国認定こども園協会京都支部といった関連機関で、遵守すべき法令等理解のための会議や研修へ参加し、必要な情報をクラス会議の場で職員に伝えている状況を聞き取った。 保育の質の向上も同様に、園長がクラス会議にて、職員に助言、指導を行っている。さらに園長は、経営改善、業務実効性向上のための組織づくりや人員配置を行い、また、週案会議において経営改善について職員に伝えることで、組織内に同様の意識形成を図っていることを伺えたが、経営改善、業務実効性向上のための具体的な体制を組織内に構築できていなかったため、Ⅱ-1-(2)-②は自己評価aをb評価とした。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	b
[自由記述欄]					
福祉人材の確保・定着の取組について、「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証取得に取り組み、計画を作成するなどの取組を始めており、今後、具体的な計画に基づいて人材の確保や育成を実施される予定となっている。人事管理において、キャリアパスを導入し、職員が自ら将来の姿を描くことができるよう取り組んでいるほか、年に一度、園長が全職員に対して面談を行い、職員の意向や意見へ対応していることを確認した。 職員の就業状況について、必要に応じて時短勤務の導入等の対応を行い、働きやすい職場づくりに取り組んでいることが聞き取れたが、職員の有給休暇取得状況の定期的な把握ができておらず、Ⅱ-2-(2)-①は自己評価aをb評価とした。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	c
[自由記述欄]					
職員一人ひとりの育成の取組について、年度末に園長が職員面談を行い、目標達成度の確認を行っているが、中間面接等での進捗状況の確認ができていなかった。基本方針、「平成31年度事業計画」にて、職員に必要とされる専門技術について明示されていることを確認できたが、教育・研修計画の策定がなされていなかった。また、経験や習熟度、また職員の興味・関心に応じて研修の参加ができていないことを確認した。 実習生等の受け入れは積極的に行われているが、保育所としての基本姿勢やマニュアルの整備が確認できなかった。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]						
運営の取組みの透明性確保のための情報公開として、ホームページで保育内容や決算情報を公開しているが、地域に向けた活動紹介等の印刷物の配布等には行っていなかった。公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組みとして、会計事務所による外部専門家のチェック及び指導を受けているが、事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任についての周知が職員全員に周知・共有している状況までは確認できなかった。						

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]					
子どもと地域との関わり方についての基本的な考え方を「保育理念」で確認し、近隣の小学校の運動会見学や地域の祭りへの参加を通して、地域との交流を広げるための取組を行っていることを聞き取った。「ボランティア・チャレンジ体験・保育体験マニュアル」において、ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢が確認されたが、受け入れに関するマニュアルの作成がなされていなかった。 障害のある子どもや虐待を疑われる子どもに対して、他機関と連携していることが聞き取れた。また、地域の関係機関・団体の資料をまとめてリスト化されていたため、Ⅱ-4-(2)-①は自己評価bをa評価とした。 保育所が有する機能の地域への還元について、保育所のスペースの町内会への貸し出しを行っていたり、週に2日園庭開放を行っていたりすることを聞き取りにて確認できた。しかし、災害時の地域における役割等について確認できていなかったことから、Ⅱ-4-(3)-①は自己評価aをb評価とした。地域の会議への参加をはじめ、民生委員とも連絡を取りながら地域の福祉ニーズの把握に努めていることを聞き取った。ニーズに合わせ、保育所の機能の地域への還元として、園として地域の集いに参加しているが、主たる社会福祉事業にとどまらないより積極的な地域貢献事業の実施状況は「平成31年度事業計画」からも確認することができなかった。					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b

[自由記述欄]					
「入園のしおり」、「保育教諭マニュアル」にて、子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための理念が明示していることを確認したほか、4歳～5歳児クラスでは、朝の会議の時間をもうけ、子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組状況についても聞き取った。「保育教諭マニュアル」にて、プライバシー保護に加え、不適切な事案が発生した場合のマニュアルが整備されていることが確認でき、子どものプライバシー保護と虐待防止に関する姿勢・責務について会議で確認されていることを聞き取ったため、Ⅲ-1-(1)-②は自己評価bをa評価とした。 利用希望者に対する保育所選択に必要な情報の積極的な提供として、園の見学を随時受け付けていることを聞き取り、その際に提供している「入園のしおり」から個別に丁寧に行っていることを確認した。保育の開始・変更にあたっての保護者への説明について、「入園のしおり」等を用いて、入園説明会などで保育の開始にあたって分かりやすく説明していることを聞き取った。保育所変更の際の保育の継続性への配慮として、窓口担当者を置き、保護者に対して相談方法を説明し、引継ぎを行っているが、手順や引継ぎ文書が定められていなかったため、Ⅲ-1-(2)-③は自己評価aをb評価とした。					

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	c	c
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]					
苦情について「入園のしおり」「マニュアル」内に記載しており、周知を図っている。現状では、記録の保管、検討内容の保護者へのフィードバックが十分とは言えず、第三者委員会の設置はあるが、苦情解決状況の公表を行っていないため仕組みづくりが求められる。特に顧問弁護士などの設置はないが、保育園連盟にて必要時に紹介してもらえるルートを確認している。入園のしおり、園内掲示で保護者への周知を確認した。また、面談実施や0歳～2歳児については、連絡ノートで登園時に記入してもらうように環境を整備しており、急な相談にも柔軟に対応している。「保育教諭マニュアル②-7」にて苦情処理の流れは記載があるが、定期的な見直しがないが今後進めることが予定されている。苦情解決、要望等は、どう対処したかを「園だより」で公表している。参観日、行事に対してのマニュアルは作成されているが、全体に対するアンケート調査は第三者評価受診でのアンケートのみとなっているため、定期的な調査が望まれる。					

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
		36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	a
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a
【自由記述欄】						
「保育教諭マニュアル②-7」にて苦情処理の流れの記載のみで、定期的な見直しがなされていない。苦情解決、要望等をどう対処したかを「園だより」で公表している。参観日、行事に対してのマニュアルは作成されているが、全体に対するアンケート調査は第三者評価受診でのアンケートのみとなっているため、定期的な調査が望まれる。職員会議、リスクマネジメント全体会議でヒヤリハットの報告を行っており、緊急時は週案でも情報共有がなされている。 「保育教諭マニュアル⑧」にて事故発生時の対応手順を確認したが、実施状況や実効性についての定期的な評価・見直しが不十分である。「保育教諭マニュアル⑦ 感染症について」経路、種類、対応等が記載されており、職員へも周知されている。インフルエンザ等の感染症は、園内ホワイトボード、メール一斉送信、ホームページなどで保護者への周知がなされている事を確認した。マニュアルで明文化されたので、今後継続的な見直しを行っていく。消防署との避難訓練では、実際の消火訓練を実施しており、月1回の避難訓練で災害時に備えるなど協力体制下での訓練がなされている。交通安全研修、紙芝居等で園児に安全指導が実施されている。「保育教諭マニュアル⑨防犯・防災対策①」にてマニュアルを確認した。Ⅲ-1-(5)-③9不審者の侵入に関して「保育教諭マニュアル⑨ 防犯・防災対策」にて確認しており、最寄警察から夕方に巡回があり、玄関には「さすまた」が設置されている。日々の巡回など警察との関わりをヒアリングで確認しており、自己評価bをa評価とした。						

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b
[自由記述欄]					
Ⅲ-2-(1)①「保育教諭マニュアル 園について①、保育業務②、保育士の基本③」でマニュアルが運用および文章のアップデートがなされており、「入園のしおり」記載でも確認できたため自己評価bをa評価とした。Ⅲ-2-(1)②保育の検証について、定期的な話し合いや場を設けており、検証、見直しの仕組みが定められている状況を聞き取りで確認できたため、自己評価bをa評価とした。アセスメントによる指導計画が策定され、話し合いや職員会議での反省・評価を行っているが積極的取組みとするには至っていないため、活用が明確になるよう進めることが期待される。月1回の検討会議で指導計画についての話し合いの場が持たれており、見直しを図って次月へ活かしている。半年に1回アセスメントが実施されており、保育士、栄養士など多職種が出席している。 個別指導計画に保護者から聞き取った内容が記入されている事を確認した。昼寝などは個別に相談し、意向の把握がなされており、同意を含んだ手順に従い適切に実施されている。Ⅲ-2-(2)②支援困難なケースでも診断書等に基づき、適切に対応されていることをマニュアル、指導計画等で確認できたため、自己評価bをa評価とした。保育所で規定した様式に従って保育状況や生活などを記録しており、ipadやパソコンを用いて情報が共有されている。記録容量の作成や職員への指導はリーダーが実施している					

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
[自由記述欄]					
理念、方針、目標に基づいて保育課程の作成や見直しが年1回定期的に実施され、次の編纂にいかしている事をヒアリングで確認した。園舎を近年建て替えた状況からさらに工夫し、清潔で安全な環境が確保されている。室内環境も良好であり、床暖房、採光も十分に検討後運用に生かされており、設備、用具、寝具などへの清潔が保たれるよう配慮がなされている。ベランダは開閉式のルーフバルコニーとなっており、雨天時も安全に遊ぶことができ、夏はビニールプールを設置するなど有効に活用されている。 安心した園生活を送れるように職員全体で取り組んでおり、子どもへの制止、抑制などの言葉で緊張や抑圧的な言動とならないよう、マニュアルを基に職員へ周知している。危険なこと、事故報道などがあれば全職員に伝達している。指導計画や記録に内容の反映を行い、クラス別に目標が設定されている。基本的な生活習慣を身に付けられるよう、主体性を重視しながら一人ひとりの発達や状況に応じた保育に取り組んでいる。絵本コーナー等が各所にあり、自然に書物や文字に触れるなど、さらに次の発達を促す仕掛けがなされている。発達に応じて自主的に遊びや学びが得られるよう、自由遊びの時間も十分に配慮されている。豊かな色彩のステンドグラスが配され、年齢ごとの絵本コーナーなど、多角的な育成に配慮された環境である。英語、音楽、体操の専門家による指導を取り入れており、年長児は鼓笛隊なども構成するなど、言葉、運動、表現といった領域への取り組みがしっかりなされている。 夏祭り、餅つき、園庭開放時には、児童館職員にも参加、支援してもらうなど、地域共助の取組み状況が確認できる。					

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b

		55	⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		56	⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
[自由記述欄]						
0歳児保育では、保護者と保育ノートでの連絡を密にしており、ハイハイ、手先を動かすなどの運動も十分できる環境を整えている。保育室では、マットやふれあい遊びで、運動と自分以外の人との関わりが育成できるよう配慮されている。落ち着けるスペースも確保しており、安心して保育者と関われる環境が整っている。また、0歳からの延長保育にも柔軟に対応している。 各年齢に応じた個別指導案の作成がなされていることを指導案で確認、共有できる仕組みが整っている。障害のある子どもの保育については、職員に向けた発達に関する講演会などに取り組んでいるが保護者に対する情報提供は、なされていない。子どもの発達、興味段階に対応した遊具や遊びを検討し、保育内容の見直しを図っている。広い保育室では、少人数で作業できる保育スペースを確保するなどの工夫がなされている。3歳児以上では、障がい児に対して、子どもたちが許容、認可できるよう、配慮がなされている事を聞き取った。 早期、延長保育は異年齢混合となっており、保護者も保育参加できる行事を実施している。A-1-(2)⑨について、6時以降の保育でおやつ提供があるなど、全体の見通しを持って取り組みがなされている事を聞きとったため、自己評価bをa評価とした。小学校と隣接しているため、見学訪問に加え、視覚的にも小学校生活を園舎から目にすることが出来る等、次の進路について自然な形で子どもたちが理解できる環境である。小学校参観や意見交換など環境が整っており、隣接の児童館との密な連携がなされていることも特徴的である。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a

[自由記述欄]

A-1-(3)①健康管理に関する事項については、マニュアル「健康管理⑤」「予防接種⑪」で確認できたため自己評価bをa評価とした。
健診の回数を増やし、地域の小児科との連携もしっかりできている事を聞きとった。アレルギーのある子どもへの対応は、状況に応じて適切に対応されているが、職員研修や保護者研修がなされていない。残食など子どもたちの食に関する情報を保護者にも連絡し、一人ひとりに対応した連携がなされている。
A-1-(4)②については、子どもたちそれぞれの「食」の状態(量、形、嗜好等)を知るため、栄養士、調理師が食事時間に様子を見に行く機会を設けて、毎食の工夫に活かされていることを視察時および聞き取りで確認したため自己評価bをa評価とした。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

家庭との緻密な連携に向けて保護者の同意を得たことを記録する等、さらに家庭との連絡を深めるために充実させている。相談室を設け、常に相談に対応できる体制を整えている。障がい児には、愛着ある物の持参を認める等、個別にきめ細やかな対応がなされている。A-2-(2)-②全体研修で実施しておりマニュアル「健康管理⑤」にて組織的に取り組んでいる事が確認できたため、自己評価bをa評価とした。年1回、園長面談を行っており、自己評価による振り返りがなされ、次につなげていく仕組みが出来ている事をサンプリング資料および聞き取りで確認することができた。